

パツと見て分かる並べ方は？ 視点5

1. 単元名 3けたの数（2年生 6月）

2. 改善の動機・意図

1年生で、「10が10こで100」と学習している。また、日常の中で、100を超える数を目にすることも少なくない。200あまりのクリップを数える素材であれば、児童は、抵抗なく取り組めるであろう。素材をあえて1円玉にすることで、1個も間違えてはいけない、大切に扱おうという意識が生まれると予想できる。さらに、10個で10円、100個で100円というまとまりで意識しやすいこと、日常生活に結びつきやすいというメリットがあると考えた。

また、教科書より多めの数（751個）にしたことで、100のまとまりを作らないと数えられないという必要感を持たせることができると考えた。

3. 授業の構想

冒頭で1円玉がいっぱい詰まった貯金箱を提示する。

T1 先生が一生懸命貯めた貯金箱がいっぱいになりました。いくら入っていると思う？

(C:100個はある C:1000個 C:300 C:1万個・・・)

T2 昨夜、数えてみたんだけど、途中でわからなくなってしまいました。どうやって数えたらいいかな～？

C1 紙にメモをすればわすれないと思います。

C2 1円玉を並べていけばいい

C3 1円を10個ずつ数えればいい

C4 10のたば 10のまとまりをつくるのか！

T3 こんな勉強したことあるかな？・・・C5 ある！1年生で習った

T4 10のまとまりを作れば数えられるんやね。じゃあカップに10個入れたら前に持ってきてください。よ～い、スタート！

.....

T5 さあ、10のまとまりがこんなにできました。(75カップ)これで数えられるね！

C6 え～、カップが多すぎて分からないよ！無理だよ～！

《もっと分かりやすくするにはどうしたらいいかな？》

T6 グループで相談しましょう。

C7 数えたカップが分かるように移動させればいい。

C8 手分けして数えて、後から足し算する。

C9 10個入ったカップを10のまとまりにします。

T7 いろいろな意見が出たけど、だれが見ても簡単にパツと分かる方法はどれだと思いますか？

C10 カップを10個ずつまとめる方法がいいよ！

T8 10が10個で？・・・C11 100！

C12 100のまとまりが（ 7 ）、

10のまとまりが（ 5 ）、ばらが（ 1 ）

ぜんぶで 751円です。

